



つなぐ



第 21 号



2016/5月発行
地域医療連携室

新緑の候、青々とした木々の葉やたくさんのお花があふれる季節となりました。皆様には日頃よりご支援をいただき厚く感謝申し上げます。

新年度が始まり、地域医療連携室もメンバーを新たにスタートを切りました。今年度も地域医療連携交流会や市民講座を予定しております。顔の見える関係作りにより一層取り組んで参りますので、昨年度同様、宜しくお願い致します。

今回のつなぐでは、退院支援や血管外来を受診する際の変更や平成27年度の連携連絡票の活用状況、平成28年度の年間計画のご案内をさせて頂きました。皆様と共にさらに情報共有や連携を図りながら、支援していきたいと思っております。

退院支援までの流れが変わりました

退院支援介入までの流れ

退院支援依頼
(スクリーニングシート)



退院支援の必要性を判断



退院支援開始

電子カルテ導入に伴い、今までは電話での依頼が可能でしたが、今後は病棟看護師がアセスメントを行い、介入が必要と判断したケースを依頼するようになりました。

また、あくまでもアセスメントを通じた判断となりますので、入院＝地連介入とは限りません。ご理解の程、宜しくお願い致します。

血管外来について

以前まで月2回血管外来を開設しておりましたが、平成28年4月1日より血管外科専門医（芹澤 玄医師）が常勤となり、毎水・木で診療が開始となりました。

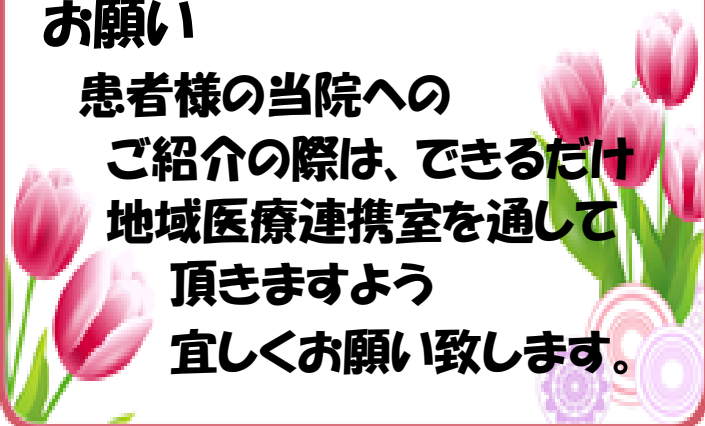
血管外科へのご紹介の際は芹澤医師指定で診療情報提供書をお願い致します。

小児神経外来について

平成28年5月より、第4金曜日10時～17時で小児神経専門医（涌沢圭介医師）の診療が開始となります。診察の流れとしては、通常の小児科診察後に小児神経外来への紹介となります。

お願い

患者様の当院へのご紹介の際は、できるだけ地域医療連携室を通して頂きますようお願い致します。



休診のお知らせ

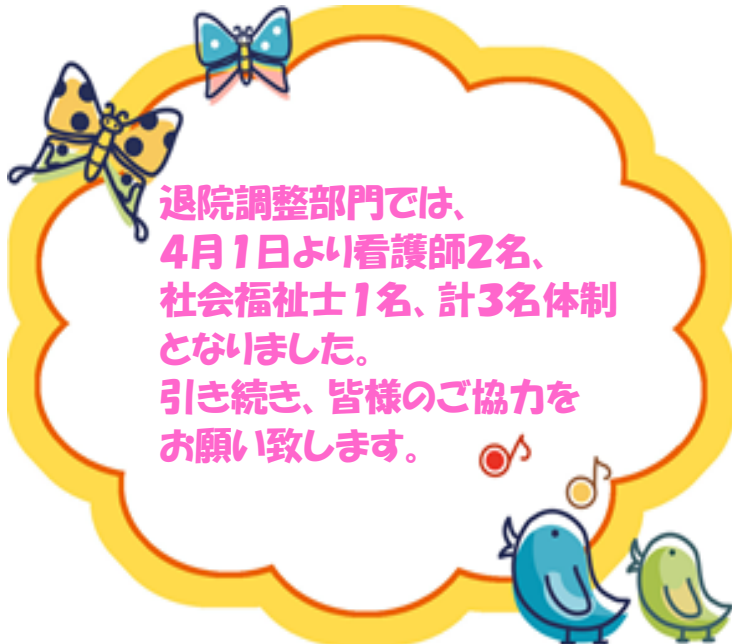
皮膚科

平成28年5月20日(金)

休診いたします。

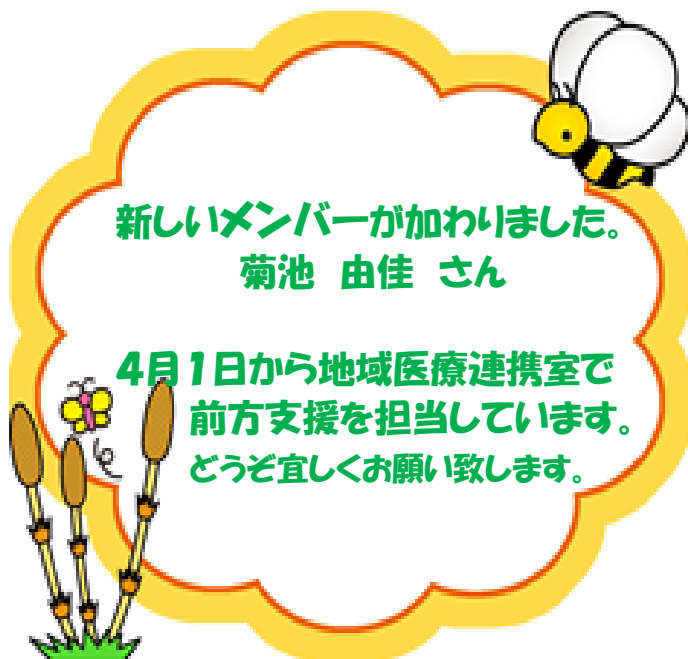


退院調整部門では、4月1日より看護師2名、社会福祉士1名、計3名体制となりました。引き続き、皆様のご協力をお願い致します。



新しいメンバーが加わりました。
菊池 由佳 さん

4月1日から地域医療連携室で前方支援を担当しています。どうぞ宜しくお願い致します。



研修会の開催について

毎年恒例になっております事例検討GWを今年も7月に予定しています。一人の患者様が自宅で療養生活を送るためにどのようにしていったらいいか院内・院外の職種を超えた活発な討議を行います。今年も多くの皆様の参加をお待ちしております。尚、研修会の詳細は後日各施設にお知らせ致します。



地域連携室年間計画

5月 広報誌発行

6月 院内研修

『介護保険と施設』

7月 事例検討 GW

9月 広報誌発行

10月 院内研修

『福祉用具のいろいろ』

11月 地域連携交流会

12月 院内研修

『施設とサービス』

1月 広報誌発行

2月 市民講座



連携連絡票活用状況について

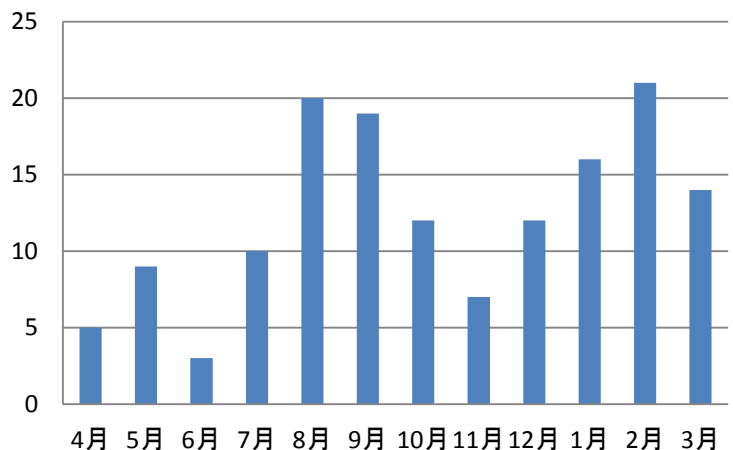
平成27年度は、148枚の連携連絡票をいただきました。

連絡内容としては、医療系サービス等を導入するにあたり、主治医の意見・相談が最も多く、中でもリハビリに関する相談がほとんどでした。

また、半数近くが、整形外科と脳神経外科宛の連携連絡票となっており、リハビリの需要の高さが伺えました。

今年度もご協力をお願いいたします。

平成27年度連携連絡票依頼推移



連携内容

ケアプラン作成	総数	33
医療系サービス	総数	78
	訪問看護	21
	訪問リハビリ	43
	通所リハビリ	25
	ショートステイ	3
	他	6
利用者の状況について相談	総数	24
その他		26

診療科別割合

